

令和2年度群馬県鳥獣被害対策功労者表彰 受賞者一覧

氏名または名称	いっばんしやだんほうじんぐん ま けんりようゆうかい 一般社団法人群馬県猟友会
受賞分野	鳥獣捕獲の推進
功績概要及び活動状況	長年有害鳥獣捕獲に尽力し、公にも捕獲技術が認められた認定鳥獣捕獲等事業者である。指定管理鳥獣捕獲等事業を通して、県全体の鳥獣保護管理に積極的に貢献している。また、卓越した捕獲技術等を農業者等に教授するなど人材育成も行っている。令和元年度に県内で確認された野生イノシシにおけるCSF感染対策では、浸潤状況調査や捕獲の推進に尽力した。

氏名または名称	たかやまむらはんぎよう た じり ち く 高山村判形田尻地区
受賞分野	鳥獣被害防除の推進
功績概要及び活動状況	「鳥獣害に強い集落づくり支援事業」を通じて、模範的な被害対策を実施した。また、電気柵設置箇所に防草シートを効果的に設置することにより管理の省力化を実証した。この集落ぐるみの取組は、住民の共通認識を深め、イノシシの被害をゼロにすることができた。村内の他集落における被害対策にも波及している。

氏名または名称	は やま しんいち 羽山 伸一 (日本獣医生命科学大学 野生動物研究機構 機構長)
受賞分野	鳥獣被害対策に係る人材の育成
功績概要及び活動状況	県内各地域における野生動物対策に関し、20年以上にわたり助言・指導を継続している。「地域ぐるみの被害対策」を実践指導し、この取組を参考に県「鳥獣害に強い集落づくり支援事業」が事業化された。日獣医大と県との「野生動物対策推進に関する包括連携協定」は4期12年継続し、中心的な役割を果たしている。対策技術の研究と併せて、被害対策の知識・技術を有する人材を多数育成している。